

# 「変形性股関節症と大腿骨頭壊死における人工股関節全置換術後の回復過程の比較」について

加古川中央市民病院リハビリテーション室では、現在、人工股関節全置換術（以下THA）を施術された患者さんを対象に以下の研究を実施しております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

## 【研究概要及び利用目的】

当院では、変形性股関節症と大腿骨頭壊死に対して人工股関節全置換術(以下：THA)が実施されています。本邦において変形性股関節症と大腿骨頭壊死におけるTHA術後の下肢筋力回復経過を比較した追跡調査の研究は少なく、双方での回復経過の差は明確になっていません。

今回、変形性股関節症と大腿骨頭壊死におけるTHA術後の回復経過を調査し、比較することで、術後の原因疾患に応じたレジスタンストレーニングの負荷量設定や、トレーニング内容の理学療法プログラムを立案することにつながると考えています。

## 【研究期間】

研究期間：院長許可日～2022年10月29日

研究対象期間：2019年1月～2021年10月

## 【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

データは、2019年1月より2021年10月に当院でTHAを施術された患者さんの下記データを診療録より収集します。

患者情報：身長、体重、年齢、性別等

測定データ：術前・術後6ヶ月の股関節外転筋力、膝関節伸展筋力

## 【個人情報保護の方法】

すべての患者さんの情報は、第三者にはその情報が誰のものかわからないように仮名加工情報表を作成して研究をすすめます。研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

## 【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は特にありませんが、本研究結果が今後の治療の向上に有用となる可能性があります。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、不利益は特にありません。

## 【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

この研究で利用させて頂くデータは、カルテから情報を得た時点で氏名、住所、生年

月日等の個人を特定できないよう仮名加工情報表を作成します。

本研究において取得した試料や情報等は、研究期間中は古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から参加拒否または同意撤回があった場合には、その患者さんに関するデータはすみやかに廃棄します。

#### **【研究成果の公表について】**

研究対象患者さんに対する研究成果の開示やフィードバックはありませんが、研究結果は患者さんの個人情報が見えなくなるように学会や学術雑誌で公表します。

#### **【研究へのデータ使用の取りやめについて】**

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、ご自身の診療情報等が利用されることを望まれない時には、患者さんには研究参加を拒否する権利があります。その時は、下記までご連絡ください。研究対象から除外いたします。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

#### **【問い合わせ窓口】**

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい時や患者さんのデータの使用を望まれない時など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 診療支援部 リハビリテーション室  
研究責任者名 小西 佑磨  
連絡先：079-451-5500